

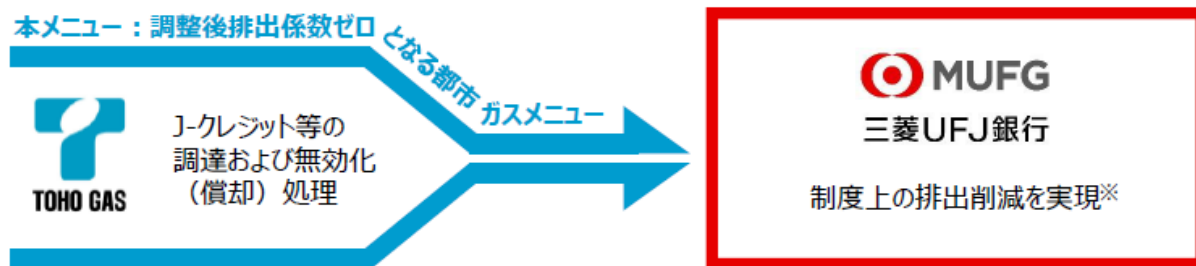
2025年3月27日
株式会社三菱UFJ銀行

三菱UFJ銀行名古屋ビルへの
「J-クレジットなどを活用したカーボン・オフセット都市ガス」の供給開始
～東海3県の金融機関として初～

株式会社三菱UFJ銀行(取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下三菱UFJ銀行)は、中部エリアにおける自らの脱炭素の取り組みの一環として、東邦ガス株式会社(社長:増田 信之、以下東邦ガス)と「J-クレジットなど^{*1}を活用したカーボン・オフセット都市ガス」に係る契約を締結しました。

2024年3月の経済産業省による通達をもって、『地球温暖化対策の推進に関する法律』に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度(以下「SHK制度」)で、都市ガスのメニュー別排出係数の設定が可能となりました。これを受けて、東邦ガスは、都市ガスの燃焼によって発生するCO₂をJ-クレジットなどでオフセットすることで、SHK制度における調整後排出係数をゼロとすることができるメニュー(以下、本メニュー)を設定し、供給を開始しております。

本取り組みは、2025年3月から2028年3月までの3年間、東邦ガスが本メニューによる都市ガスを、三菱UFJ銀行名古屋ビル(名古屋市中区錦)へ供給するものです。三菱UFJ銀行は、契約期間中、J-クレジット制度の活用を通じて、我が国における合計1,800トン^{*2}のCO₂削減に貢献します。なお、東邦ガスの本メニューによる都市ガスの供給は、東海3県の金融機関向けとして初^{*3}となります。



※適用対象は国内温対法等のみ。自社排出の開示・測定においては不変

※SHK制度における調整後排出係数をゼロとすることにより、CO₂排出量をゼロとして報告することが可能

三菱UFJ銀行は、2030年自社温室効果ガス排出ネットゼロを実現するべく、省エネ・再エネ化などを通じて排出量削減努力を続けておりますが、現時点の技術では削減が難しい領域に対しては、脱炭素ソリューションの社会実装フェーズに沿って、最先端の脱炭素ソリューションを需要家の立場からも支援し、ソリューションの普及を促します。

東邦ガスは、J-クレジットなどの活用に加え、合成メタン(e-methane)やバイオガス、水素などの多様な手段を組み合わせ、カーボンニュートラルの実現を目指しております。両者は、我が国又は地域の脱炭素・産業発展に貢献すべく、今回、本メニューの採用に合意しました。

両者は、引き続き、これまで培ってきた知見・ノウハウを活用し、連携してカーボンニュートラル実現につながる取り組みを強化することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

-
- ※¹ CO₂などの排出削減量や吸収量を国が認証する「J-クレジット制度」によって認証されたクレジット等
 - ※² 東邦ガス試算
 - ※³ 東邦ガス調べ